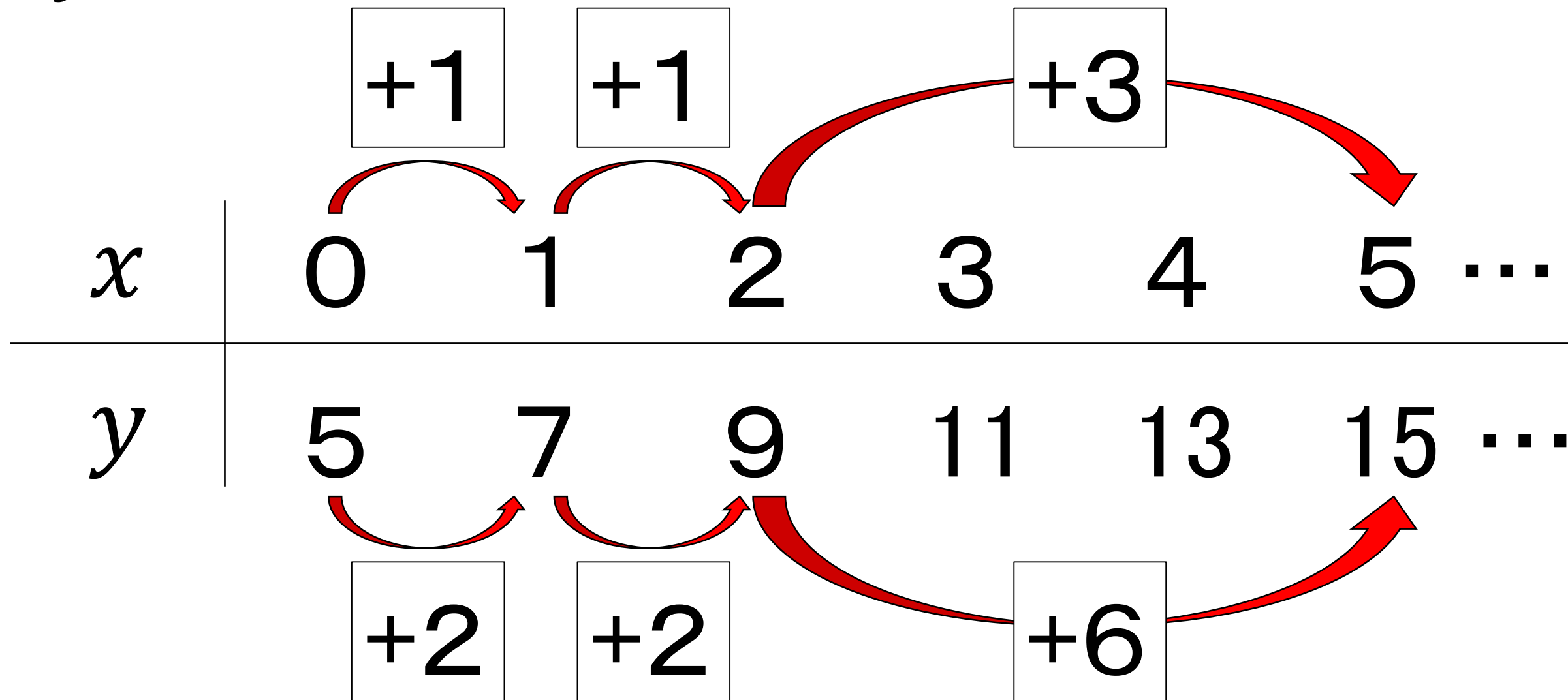


$y = 2x + 5$  を例に考えてみよう！



このことから…

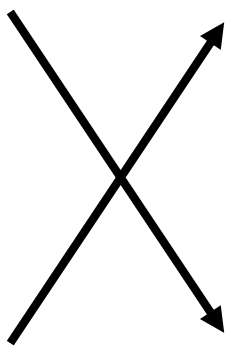
$x$  が1増えると…  $y$  が2増える

$x$  が3増えると…  $y$  が6増える

$x, y$  の増えぐあい ➡ 増加量に注目！

$y = 2x + 5$  において

$x$  の値が 0 から 1 まで増加したとき

$x$ の増加量	<u>1</u> - <u>0</u> = 1		$\frac{2}{1} = 2$
$y$ の増加量	<u>7</u> - <u>5</u> = 2		

$y = 2x + 5$  において

$x$  の値が 2 から 5 まで増加したとき

$$\begin{array}{l} x \text{ の増加量} \quad \underline{5} - \underline{2} = 3 \\ y \text{ の増加量} \quad \underline{15} - \underline{9} = 6 \end{array} \quad \begin{array}{c} \nearrow \\ \times \\ \searrow \end{array} \quad \frac{6}{3} = 2$$

$x$  の増加量に対する  
 $y$  の増加量の割合を  
変化の割合という。

# 1次関数の変化の割合

1次関数  $y = ax + b$  では、  
変化の割合は一定で  $a$  に等しい。

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}} = a$$

1次関数の変化の割合は？

$$y = ax + b$$

これ！！これを見るだけ！！！！